

第2章 被害の概要

2.1 被害の概要

気象の状況で述べたとおり、この災害では7月3日と7月14日の2回にわたり豪雨に見舞われた。

7月3日は午前7時を過ぎた頃から急に雨脚が強くなり、花月川の上流部となる藤山町では堤防の決壊により周辺住宅が浸水した。また、清水町住吉地区では、堤防の一部決壊により住宅1棟が倒壊、周辺にも浸水被害が発生した。中流部の上手町では、河川に流れ出た流木が「夕田橋」の橋脚部や欄干に滞留し、橋の道路部分を伝い周辺に氾濫したため、上手町、丸山1丁目、丸山2丁目、吹上町など広範囲に浸水被害をもたらした。

また、花月川支流となる小野川、有田川でも堤防の決壊あるいは越流により、住家、道路、農地に甚大な被害をもたらした。

さらに7月14日には、3日の被害からの復旧が進む中、午前0時を過ぎたあたりから、追い打ちをかけるような豪雨に再び見舞われ、花月川、小野川、有田川周辺では、3日とほぼ同様な浸水被害が発生した。

14日は、3日には被害がなかった、高瀬川、串川、内河野川、二串川、大肥川、吾々路川など、市内のいたるところの河川でも、豪雨による越流が発生し、3日の被害に輪をかける形で、住宅の浸水や道路の決壊、農林地の崩壊など、市内全域に甚大な被害が発生する事態となった。

花月川周辺の浸水範囲と浸水状況等の写真を以下に示す。

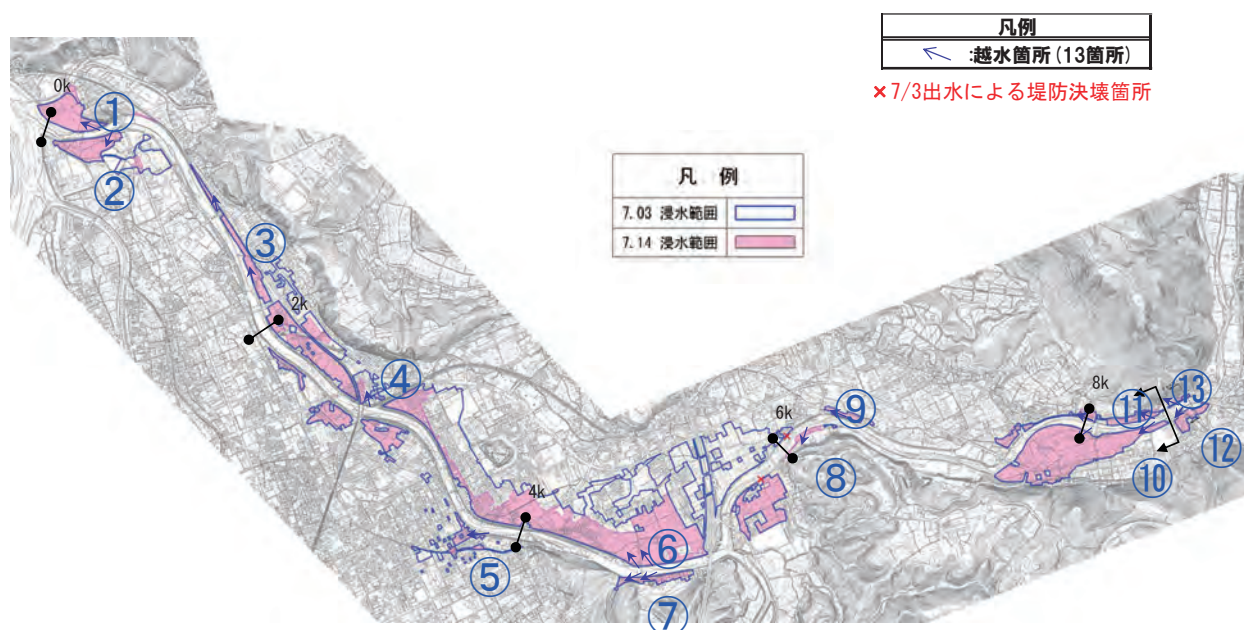


図-2.1.1 花月川の浸水範囲(7月3日と14日)¹⁾



写真－2.1.1 花月川の浸水状況(上流部・藤山町周辺)



写真－2.1.2 花月川の堤防決壊状況(右岸・清水町)

2.2 人的被害

(1) 死者・行方不明者・負傷者の発生状況

日田市における人的被害の状況は、以下のとおりであった。

7月3日の豪雨では、殿町で被災した道路の倒木処理を行っていた方が、脚立から転落して、足を骨折する怪我を負われた。

また、7月14日には、福岡県朝倉市との県境付近となる本市西部の夜明中町において、豪雨により流れ出した山腹からの雨水により国道386号の一部が陥没した。同日午前7時前後、朝倉市方面から日田市の事業所に通勤していた車両が、同所を通過しようとした時、陥没箇所ではバウンドし、飛び越える形で数十メートル先のガードレールを越え、「夜明ダム」に落ちたと見られている。転落後、勤務先の会社に転落した方の携帯電話から「川に落ちた」との趣旨の連絡があったとの報道があった。

転落された方は、現場から下流13kmの福岡県うきは市で7月16日午前10時頃、遺体で発見されるという痛ましい事故となった。

以上のような状況で、死者及び負傷者の発生数は下表のとおりである。

表-2.2.1 死亡者・負傷者の発生状況

種 別 日 時	死 亡	負 傷 者	合 計
7月 3 日	0 人	1 人	1 人
7月 14 日	1 人	0 人	1 人
合 計	1 人	1 人	2 人

また、死亡者が出た国道386号の写真を以下に示す。



(夜明中町)
・日田市側から福岡方面を撮影した現場。

写真-2.2.1 国道386号の陥没現場その1



(夜明中町)
・国道386号線陥没現場。
※事故当時の陥没は半分程度の規模であったと考えられる。

写真-2.2.2 国道386号の陥没現場その2

2.3 住家等建物被害

家屋（住家）等の被害は、土砂崩れや土石流による損壊及び河川の氾濫、堤防の決壊による倒壊や浸水が主な原因となっており、13棟が全壊とされた。

土砂災害や土石流による被害は、7月3日、14日ともに小野地区、東有田地区、大山町、天瀬町、前津江町などの山間部を中心に発生した。

7月3日の河川の氾濫では、上手町、日ノ出町、丸山1丁目・2丁目、吹上町など、旧日田市の中心部に近い地域で甚大な浸水被害をもたらした。

また、大山町の吾々路川上流部では、山地崩壊が起きており、この崩壊で堰き止められたと考えられる河川の水が一気に川を下ったため、蛇行した吾々路川の最下流部分の堤防が決壊し、堤防沿いの家屋に大量の土砂や石が流れ込み、大きな被害となった。

以下に住家被害の集計結果を示す。

表－2.3.1 7月3日の豪雨による住家被害

(単位：棟)

地 区 \ 損 害	全 壊	半 壊	床上浸水	床下浸水	合 計
日 田	8	397	132	114	651
大 山	0	0	0	0	0
天 瀬	0	0	0	0	0
前 津 江	0	0	1	0	1
中 津 江	0	0	0	0	0
上 津 江	0	0	0	0	0
合 計	8	397	133	114	652

表－2.3.2 7月14日の豪雨による住家被害

(単位：棟)

地 区 \ 損 害	全 壊	半 壊	床上浸水	床下浸水	合 計
日 田	1	10	11	8	30
大 山	0	6	5	2	13
天 瀬	3	4	5	2	14
前 津 江	1	0	1	0	2
中 津 江	0	0	0	0	0
上 津 江	0	0	0	0	0
合 計	5	20	22	12	59

※ 7月3日に浸水し、14日に再び浸水した住家は3日分のみに計上

表－2.3.3 平成24年豪雨による住家被害(3日と14日の合計)

(単位：棟)

地 区 \ 損 害	全 壊	半 壊	床上浸水	床下浸水	合 計
日 田	9	407	143	122	681
大 山	0	6	5	2	13
天 瀬	3	4	5	2	14
前 津 江	1	0	2	0	3
中 津 江	0	0	0	0	0
上 津 江	0	0	0	0	0
合 計	13	417	155	126	711

※平成 24 年 7 月災害 非住家 被害計 103 棟

花月川被災状況（日田市大字花月）

写真－2.3.1 花月川沿いの住家被害(大字花月・秋原橋付近)³⁾

熊尾川被災状況（日田市大字羽田）



写真－2.3.2 熊尾川の護岸被害と住家被害³⁾

大肥川出水状況（日田市大字夜明）



写真－2.3.3 大肥川沿いの人家への浸水(夜明橋より)³⁾



写真－2.3.4 住吉地区の住家被害



写真－2.3.5 住宅・自動車の浸水被害(光岡公民館提供)



写真－2.3.6 住家等の浸水被害(三花公民館^{みはな}提供)

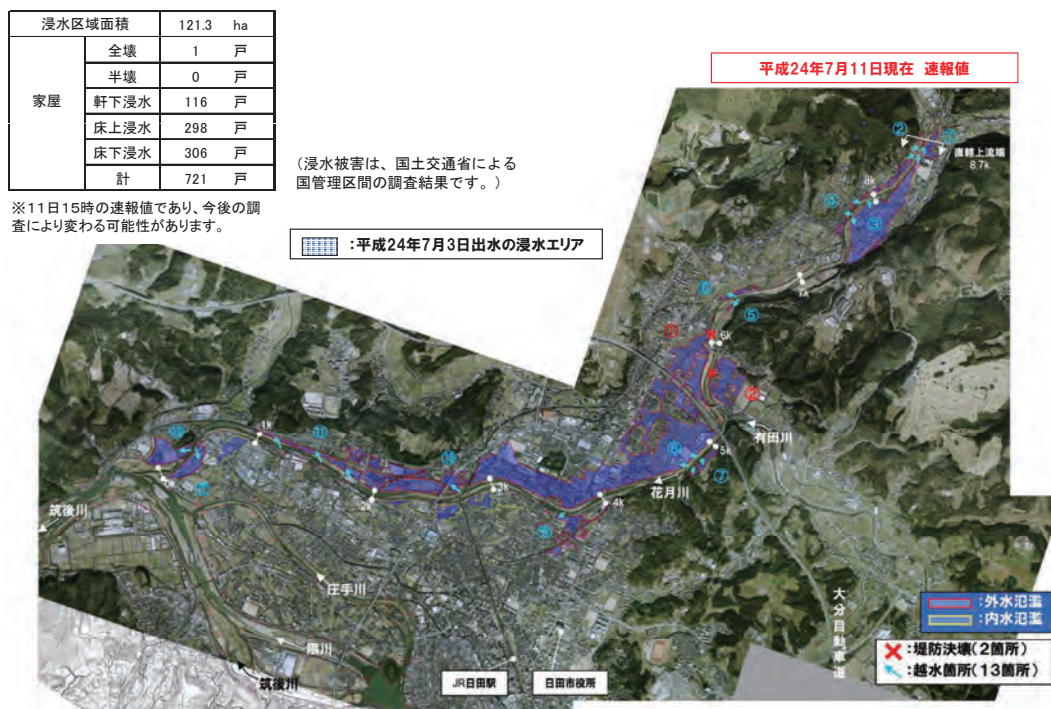


写真－2.3.7 住家等の浸水被害(昭和学園提供)

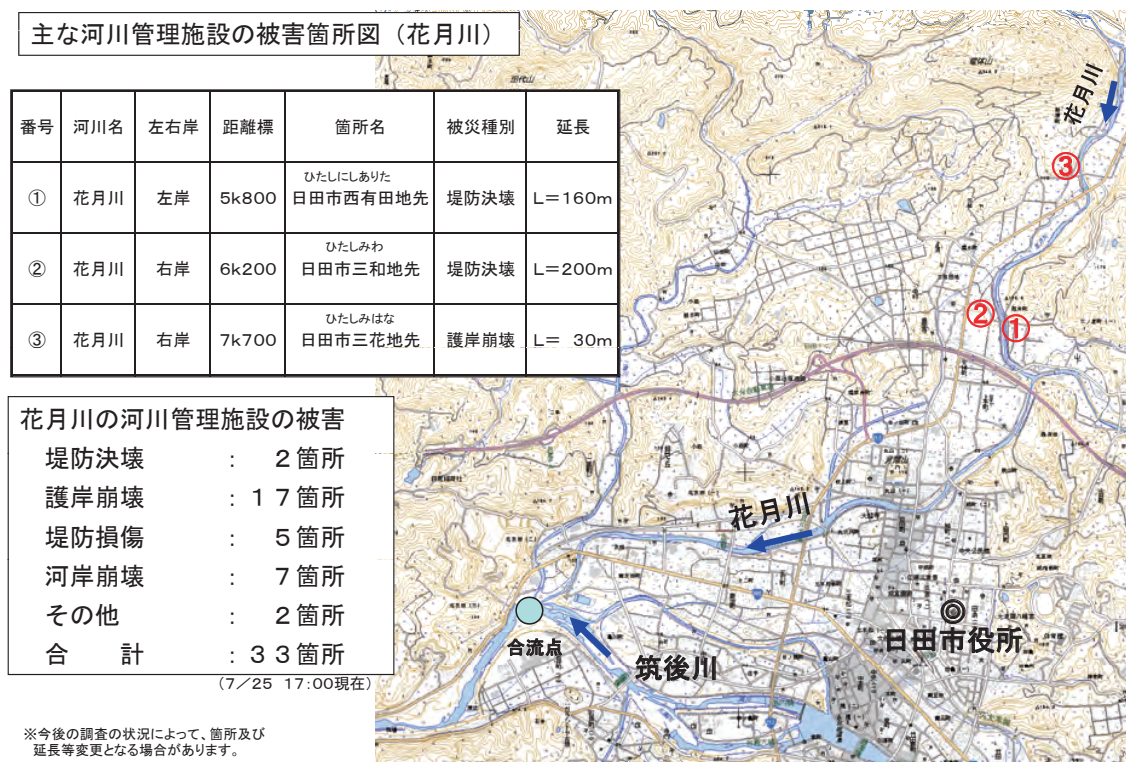
2.4 花月川の浸水等被害

(1) 7月3日の浸水範囲・箇所

国土交通省の報告²⁾によれば、浸水範囲は図－2.4.1に示すような範囲であった。また、7月3日出水における花月川の被災箇所とその写真を以下に示す。



図－2.4.1 7月3日の浸水範囲・越水箇所等²⁾



図－2.4.2 7月3日豪雨での河川管理施設の被害箇所²⁾

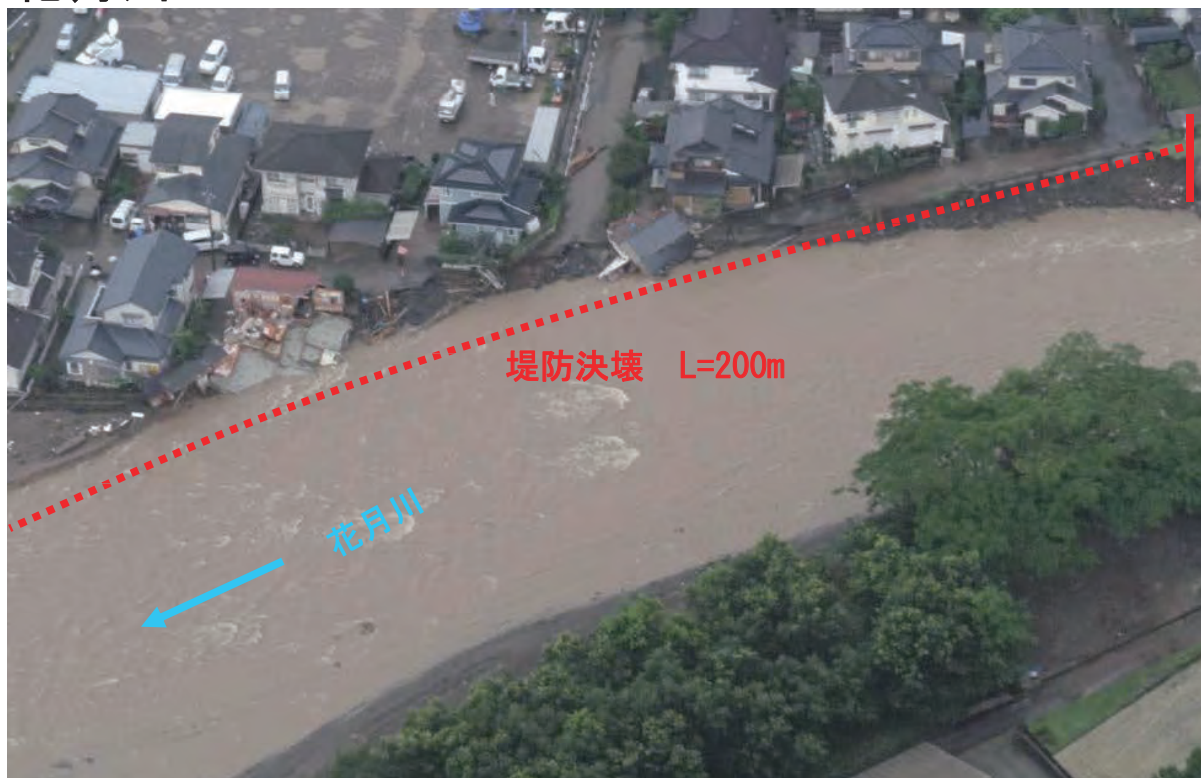
花月川



日田市西有田地区(花月川左岸 5K800付近) 堤防決壊状況

写真-2.4.1 花月川左岸西有田地区(5K800付近)の堤防決壊状況²⁾

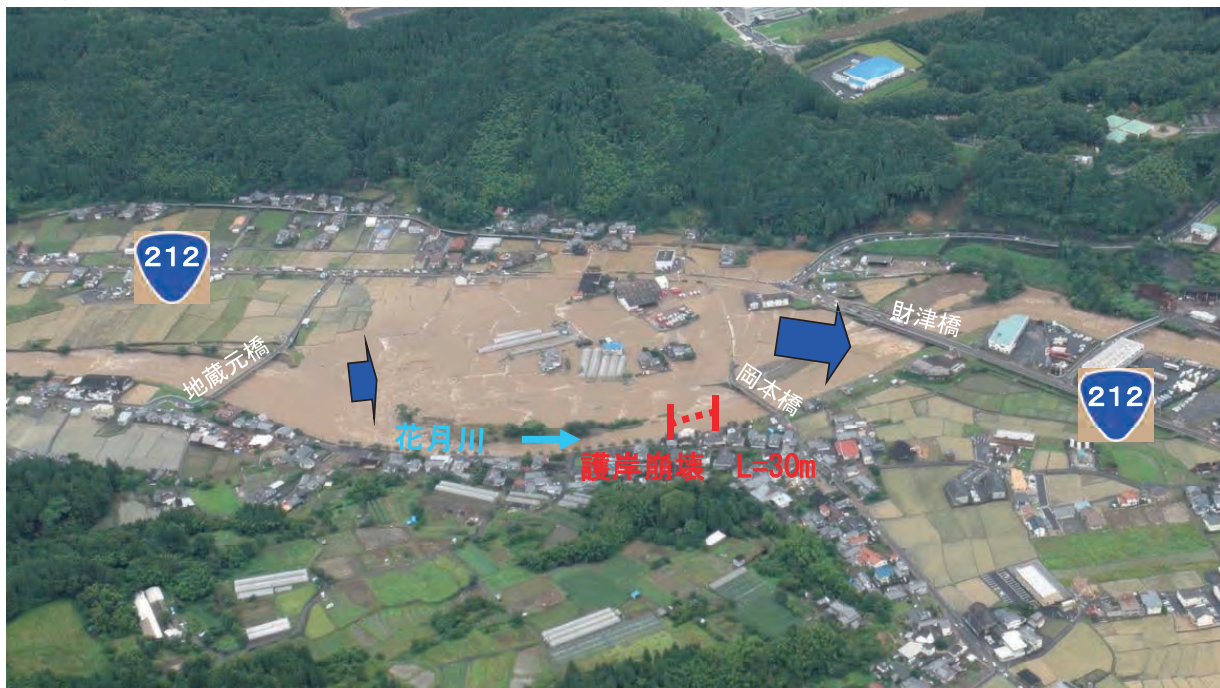
花月川



日田市三和地区(花月川 右岸6K200付近) 堤防決壊状況

写真-2.4.2 花月川右岸三和地区(6K200付近)の堤防決壊状況(清水町住吉)²⁾

花月川



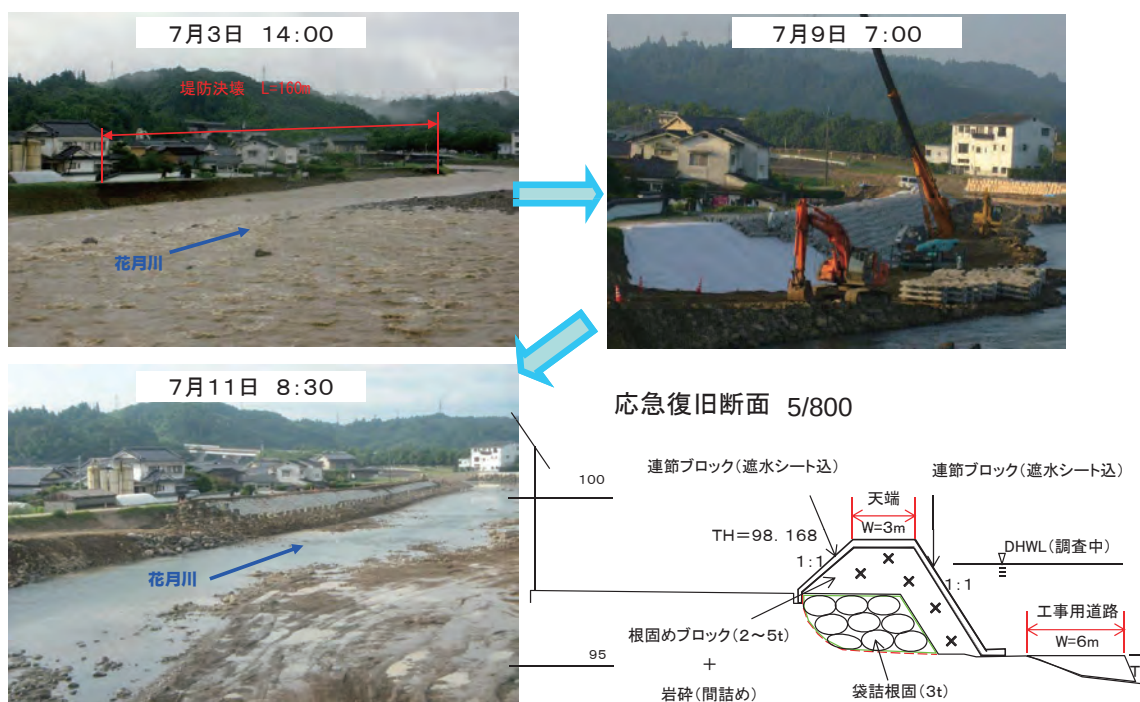
日田市三花地区(花月川 7K700付近) 浸水状況

写真－2.4.3 花月川上流部の護岸崩壊箇所と浸水状況(三花地区)²⁾

(2) 応急復旧工事

7月3日の被災後、その応急復旧工事が国土交通省九州地方整備局により速やかに実施された。その状況を以下に示す。

■被災した施設の応急復旧（5K800左岸）



写真－2.4.4 被災した箇所の応急復旧工事(5K800)²⁾

■被災した施設の応急復旧（6K200右岸）

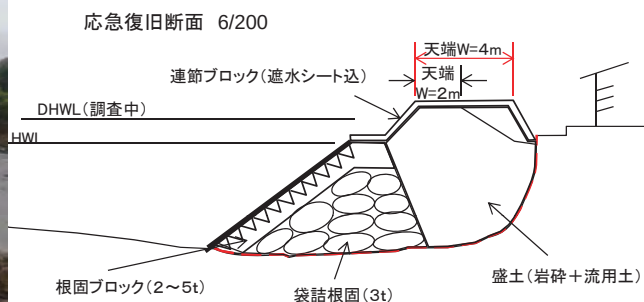


写真-2.4.5 被災した箇所の応急復旧工事(6K200)²⁾

(3) 7月14日の被害箇所等

花月川は7月14日の豪雨で、再び被災した。その被災箇所と被災状況を以下に示す。

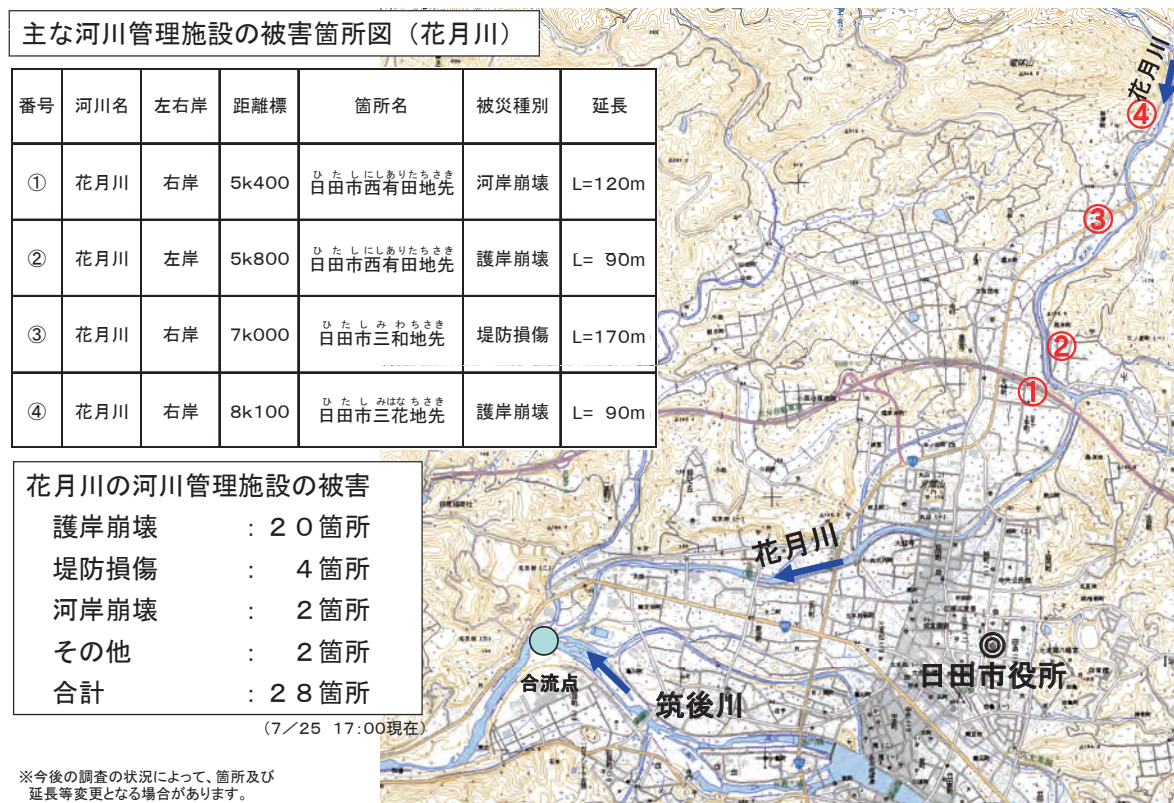


図-2.4.3 7月14日豪雨での河川管理施設の被害箇所²⁾

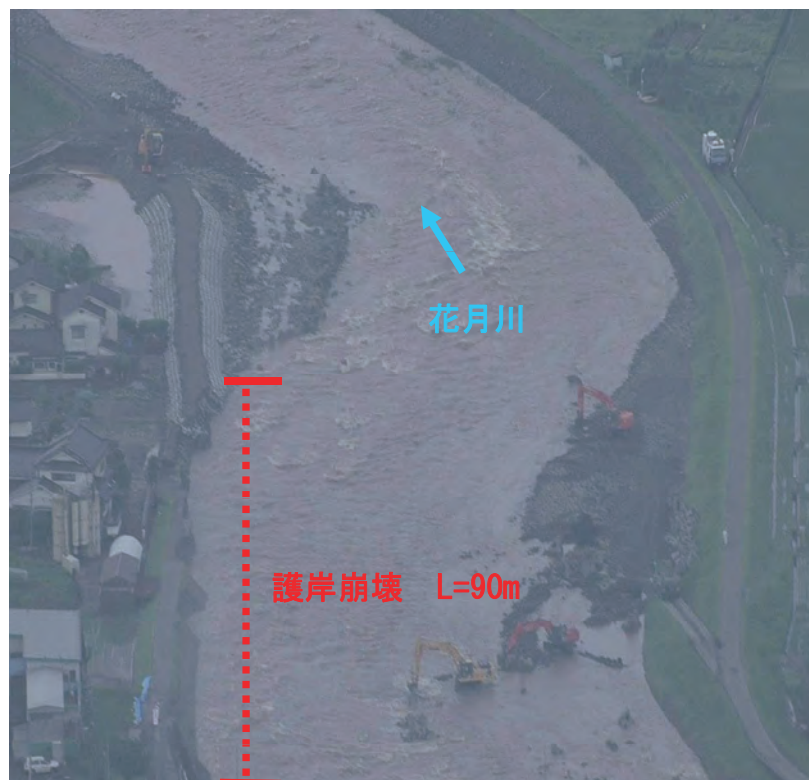
花月川



日田市西有田地区(花月川右岸 5K400付近) 河岸崩壊状況

写真－2.4.6 花月川右岸西有田地区(5K400付近)の河岸崩壊状況(崩壊は上手町、対岸は坂井町)²⁾

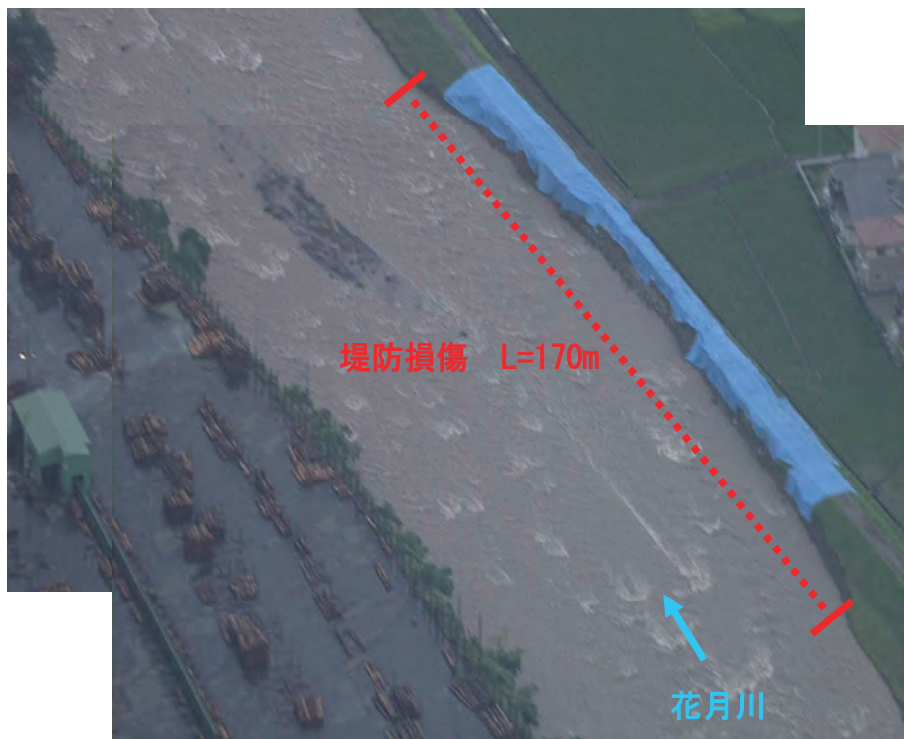
花月川



日田市西有田地区(花月川左岸 5K800付近) 護岸崩壊状況

写真－2.4.7 花月川左岸西有田地区(5K800付近)の河護岸壊状況(坂井町)²⁾

花月川



日田市三和地区(花月川右岸 7K000付近) 堤防損傷状況

写真－2.4.8 花月川右岸三和地区(7K000付近)の堤防損傷状況(財津町、九州木材対岸)²⁾

花月川



日田市三花地区(花月川 右岸8K100付近) 護岸崩壊状況

写真－2.4.9 花月川右岸三花地区(8K100付近)の護岸崩壊状況(財津町、地藏元橋上流)²⁾

(4) 7月14日出水後の応急工事

14日出水後の応急工事の例として、8K000付近の状況を以下に示す。

【7月3日出水状況】



【7月3日出水後の対応】



【7月14日出水状況】



【7月14日出水後の対応状況】



写真－2.4.10 花月川8K000付近の14日出水後の応急工事の状況²⁾

三 解説

－ 最近の堤防の被災事例と特徴 －

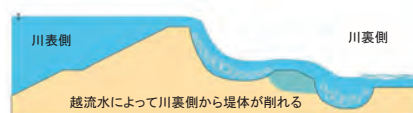
(土木研究所 石原雅規氏の発表資料より)

河川堤防の決壊原因は、以下のように整理されています。

洪水による河川堤防の決壊原因

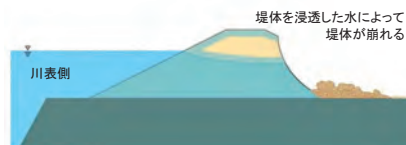


● 越水(裏のり面からの侵食)

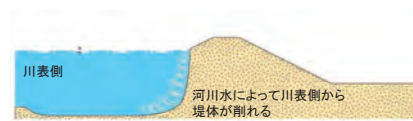


● 浸透

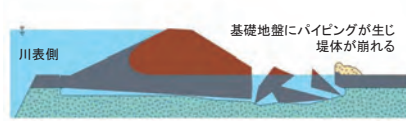
◆ のりすべり



● 侵食(川側からの侵食)



◆ 基盤漏水(堤体漏水)



※堤体漏水は、設計の対象外
※設計で、すべりと漏水は独立

2.5 吾々路川の土砂災害

以下、土木学会調査団の報告書⁴⁾を引用させて頂きながら、吾々路川の土砂災害について記す。

筑後川上流大山川支流の赤石川は、流域面積 46.1km²、流路延長 8.8kmであり、大山ダムが建設されている。ダムの下流で合流する吾々路川（流域面積 4.6km²、流路延長 3.6km）では、平成 24 年 7 月の九州北部豪雨において土砂災害が発生した。

吾々路川を流下した土石流は、上流では林道に、また日田市西大山地区の吾々路川と赤石川の合流点では直上の右岸側が破堤して住宅地へと溢れ出した。土砂は国道 212 号線に達し、7 月 14 日の通行止めの原因となった。（付近の国道の全面開通は 7 月 31 日）。この土石流により、人的被害は免れたものの、家屋、道路・林道の損壊があった。



写真－2.5.1 吾々路川の土石流被害の状況

－ 土砂災害の区分 －

（地質情報ポータルサイトより）

土砂災害とは、斜面崩壊（崖崩れ、表層崩壊及び深層崩壊）、土石流及び地すべり、あるいは火山噴火に伴う溶岩流、火砕流及び火山泥流などにより、人命や財産・インフラなどが脅かされる自然災害の総称のことです。以下のように区分されます。

〈土砂災害〉

- 斜面崩壊（崖崩れ、山崩れ、急傾斜地崩壊）
 - 表層崩壊：表面土層のみ崩壊する現象です。どの地質でも起こりうる、という特徴があります。
 - 深層崩壊：表面土層と風化岩盤が一体となって崩壊する現象です。
表層崩壊に比べ崩壊規模が格段に大きいことが特徴です。
- 土 石 流：斜面で崩壊した土砂が多量の雨水や渓流水と混じり合い、渓流に堆積していた土砂をも巻き込んで流動化して流れ下る現象です。
- 地すべり：斜面が重力により移動する（すべる）現象です。斜面崩壊に比べ、運動速度が遅いという特徴があります。
- 岩盤崩落：亀裂が伸展するなどにより、岩（石）塊が崩落する現象です。
北海道、豊浜トンネルの岩盤崩落事故で有名になりました。

2.6 県管理河川の浸水状況

国管理河川である花月川や大きな土砂災害が発生した吾々路川その他、大分県が管理している有田川などの河川においても、山腹崩壊や河岸の浸食に伴い発生した多量の流木が主に橋梁に集積したこと等により河川の流下能力を低下させ、氾濫を助長した箇所が多くの河川で見られた。

大分県日田土木事務所管内の河川別の浸水状況を表-2.6.1に示す。有田川の被災区間の図を図-2.6.1に示す。また、各河川の出水・被災状況を以下の写真で示す。

表-2.6.1 日田市内の県管理河川の浸水状況³⁾

河川名	宅地 (ha)	田・畑 (ha)	山林 (ha)	計 (ha)	床上 (戸)	床下 (戸)	備考
大肥川	0.06	1.23		1.29		2	
鶴河内川		1.21		1.34	1	3	
内河野川	0.13	0.29	0.14	0.43			
二串川	0.27	24.43		24.70	2	9	
花月川	0.53	1.83		2.36	3	4	
渡里川	0.10	0.39		0.49			
有田川	5.12	48.18		53.30	57	45	
石松川		3.92	1.29	5.21			
熊尾川	0.50	9.93	2.99	13.42	7	9	
蕪谷川	0.77	3.42		4.19	1	1	
小野川	1.68	4.43		6.11	8	9	
一の瀬川	0.40	0.60		1.00			
串川	0.03	1.49	0.22	1.74		1	
高瀬川	1.05	2.42	0.96	4.43		2	
月出山川		2.24		2.24			



図-2.6.1 有田川の被災区間³⁾

有田川出水状況（日田市大字羽田）

写真－2.6.1 有田川の出水状況その1³⁾

有田川被災状況（日田市大字東有田）

写真－2.6.2 有田川の被災状況(東有田中学校付近)³⁾

有田川出水状況（日田市大字東有田、日掛橋付近）



提供：大分合同新聞社

写真－2.6.3 有田川の出水状況その2³⁾

有田川出水状況（日田市大字有田）



写真－2.6.4 有田川の出水状況その3(小寒水橋より)³⁾

串川出水状況（日田市大字高瀬）

写真－2.6.5 串川の出水状況(串川橋より)³⁾

小野川被災状況（日田市大字小野）

写真－2.6.6 小野川の被災状況(柳野)³⁾



写真－2.6.7 花月川(大分県管理区間)の被災状況(秋原町)³⁾

2.7 日田市管理等の道路・河川の被害

(1) 被害の概要

主要なライフラインの一つである道路においては、幹線道路の国道や県道から生活道路である市道に至るまで、道路法面の崩壊や陥没、路肩の決壊などにより、多数の通行不能箇所が発生した。

中でも、先に述べた吾々路川の土砂災害により、市道第1田来原木弓線は、長さ1kmに渡り道路部が欠損したため、地域住民は迂回路を利用した不便な生活を強いられた。

河川については、国管理の花月川については既に述べたが、県管理河川、市管理河川の多くにおいて、堤防の決壊や堤防道路損壊が発生した。

(2) 被害件数・被害額

公共土木施設（道路、河川及び橋梁）の国庫補助分の被害件数・被害額は、以下に示すとおりであった。

表－2.7.1 公共土木施設の国庫補助被害件数・被害額
(単位：件・千円)

区 分	市 管 理		県 管 理	
	被害件数	被害額	被害件数	被害額
道 路	167	847,907	47	627,788
河 川	102	696,992	274	4,652,379
橋 梁	6	75,771	1	61,204
合 計	275	1,620,670	322	5,341,371

※上記被害額は、国庫補助の災害査定額

また、日田市単独災害の被害件数・被害額は、以下に示すとおりであった。

表－2.7.2 日田市単独災害被害件数・被害額

天瀬振興局分 (単位：件・千円)			前津江振興局分 (単位：件・千円)			上津江振興局分 (単位：件・千円)		
区 分	件 数	金 額	区 分	件 数	金 額	区 分	件 数	金 額
道 路	29	53,638	道 路	26	45,337	道 路	5	4,022
河 川	9	10,36	河 川	3	6,363	河 川		
計	38	64,004	計	29	51,700	計	5	4,022

大山振興局分 (単位：件・千円)			中津江振興局分 (単位：件・千円)			振興局 合計 (単位：件・千円)		
区 分	件 数	金 額	区 分	件 数	金 額	区 分	件 数	金 額
道 路	30	49,462	道 路	15	23,433	道 路	105	175,892
河 川	4	6,727	河 川			河 川	16	23,456
計	34	56,189	計	15	23,433	計	121	199,348

土木課分 (単位：件・千円)			【日田市全体】 (単位：件・千円)		
区 分	件 数	金 額	区 分	件 数	金 額
道 路	180	229,491	道 路	285	405,383
河 川	12	9,091	河 川	28	32,547
法定外	6	2,989	法定外	6	2,989
計	198	241,571	総 計	319	440,919

(3) 被害状況

以下に、公共土木施設の被害状況を示す。



・市道第1田来原木弓線



・市道第1田来原木弓線



・市道志谷線



・市道志谷線



・市道小塩高木線



・市道小塩高木線

写真－2.7.1 公共土木施設の被害状況・日田市分その1



・市道銭花五条殿線



・市道川原城南線



・市道平和通線



・市道合谷谷向線



・市道日向野大石線峠線



・市道上手水目線（夕田橋）

写真－2.7.2 公共土木施設の被害状況・日田市分その2



・国道212号（藤山町）



・県道日田戸畑線



・県道朝田日田線（福岡県境付近）



・県管理河川 志谷川



・県管理河川 有田川（上流から下流を見る）



・県管理河川 小野川

写真－2.7.3 公共土木施設の被害状況・大分県分



写真－2.7.4 国道212号の冠水状況(大字三和)³⁾



写真－2.7.5 県道宝珠山日田線の被災状況(大字小野)³⁾

2.8 ライフラインの被害と復旧状況

ライフラインでは、主に、土砂災害を原因とする送電線及び電話線等の断線により一部の地域での停電が発生するとともに、固定電話、有線テレビなどが不通となった。

また、河川の増水による道路の決壊や橋梁の被災により上下水道管が切断され、断水となる地域も発生した。このため、発電機の設置や仮配水管などにより、応急復旧を行ったが、応急復旧の見通しが立たない地域では、給水活動が必要となったため、タンクによる臨時の給水所を設けるなどの対応を行った。

特に、前津江町志谷地区においては、土石流により地域が運営する給水施設が壊滅的な被害を受けたため、復旧までに数ヶ月を要したことから、その間は仮の配水タンクを設置して、市職員が給水活動を続けた。

表－2.8.1 上下水道の被害結果

区 分 項 目	被害箇所	被 害 額	内国庫補助該当分	
			件 数	金 額
上水道	15 件	8,883 千円		
簡易水道	20 件	21,096 千円	1 件	5,552 千円
給水施設	2 件	915 千円		
公共下水道	14 件	6,993 千円	1 件	3,570 千円
農業集落排水施設	7 件	3,207 千円		
特定環境保全公共下水道	1 件	143 千円		

※水道は仮設費用含む

表－2.7.2 電気通信の被害結果

区 分 項 目	7 月 3 日	7 月 14 日	
電気（停電）	50 件（290 戸）	80 件（483 戸）	最大 35 時間停電
固定電話（不通）		130 件	最大 7 日不通
水郷テレビ（停波）	2 世帯	69 世帯	最大 6 日停波
KCV テレビ（停波）			



・殿町排水管流失



・深谷橋水道管流失(仮設状態)

写真－2.8.1 水道の被害状況その1



・日掛橋水道管流失



・天瀬町簡水被災状況



・八幡町臨時給水所



・殿町臨時給水所



・前津江町志谷地区仮設給水所

写真－2.8.2 水道の被害状況その2



・清水町住吉地区下水道管切断



・同左仮復旧



・大山町錦打地区下水道管流失



・大肥町白岩地区道路陥没による下水道管破損

写真－2.8.3 下水道被害の写真結果

2.9 孤立集落

7月14日の豪雨では、道路法面の崩落や路肩の決壊などにより、山間部で道路網に不通区間が発生し、一部の地域で集落が孤立した。車両での通行が不可能となったため、市職員や日田消防署、自衛隊員が徒歩で調査を行った。

その結果、迂回路も無く短時間での応急復旧が見込めなかった^{ゆうぎ} 柚木地区と^{うらせばる} 三春原地区は、孤立状態の解消に時間を要する状況であったため、大分県の防災航空隊の防災ヘリにより、食料、飲料水、発電機、衛星携帯電話、生活必需品などを空輸した。また、翌日には、柚木地区内の要援護者4人を防災ヘリで搬出し、施設への一時入所の措置を行った。

高花地区、二ッ尾地区、緑町2丁目は迂回路がある、もしくは道路の土砂撤去を行えば通行可能な地域であったが、念のため食料と飲料水の空輸を行った。

各地区の孤立状況や防災ヘリの運航履歴は、以下のとおりである。また、道路被害と孤立状況を図-2.9.1に示す。調査状況や救助状況の写真を以下に示す。

柚木地区	……	20世帯 54人
7月16日夕方には県道西大山大野日田線の通行が可能となった。 (林道石の内線の一部を経由)		
三春原地区	…	9世帯 11人
8月11日に市道三春原大河内線が仮復旧完了。 ※7月6日に宅配便により、食料、生活物資の配送を行った。 (県道朝田日田線から、徒歩あるいは2輪車の通行は可能であった。)		

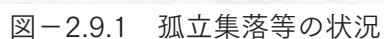
〔防災ヘリ運行履歴〕

7月15日(日) 物資輸送

10:05 (TDK着陸)	10:07~10:31 (投入地点等打合せ)
10:36 (熊ノ尾1回目離陸)	11:06 (熊ノ尾2回目離陸)
11:34 (緑町1回目離陸)	12:16 (緑町2回目離陸)
12:26 (柚木1回目離陸)	13:05 (柚木2回目) 13:27 (柚木3回目)
14:26 (柚木4回目)	15:54 (柚木5回目)
16:27 (防災航空隊基地へ帰還)	
※燃料補給4回 800ℓ	

7月16日(月) 救助

12:27 (TDK到着)		
12:28 (柚木本村へ離陸)	12:33 (柚木上空)	12:53 (TDK着陸1人目救助)
12:54 (柚木本村へ離陸)	12:57 (柚木上空)	13:11 (TDK着陸2人目救助)
(日田市災害対策本部から2名追加救助の依頼 13:05)		
(柚木上空)	12:53 (TDK着陸1人救助)	
13:35 (柚木本村へ離陸)	13:38 (柚木上空)	13:56 (TDK着陸2人救助)
14:11 (防災航空隊基地へ帰還)		
※燃料補給有り		
※救助者4人(福祉施設&病院へ収容)		





・柚木地区に向かう調査隊



・うきは市方面から柚木地区に繋がる県道



・柚木地区内現場調査



・調査後の状況整理打合せ



・防災ヘリによる要援護者救助1



・防災ヘリによる要援護者救助2

写真-2.9.1 孤立集落調査状況と要援護者の救助活動



・防災ヘリによる要援護者救助3



・防災ヘリによる要援護者救助4

写真－2.9.2 要援護者の救助活動



写真－2.9.3 前津江町柚木の状況

2.10 教育施設の被害

7月3日の豪雨により日田市北部にある市立北部中学校では、花月川にかかる「夕田橋」付近からの河川水の越流により、校門から押し寄せた濁流がグラウンドや校舎1階まで押し寄せ、床上浸水被害を受けた。また、少し下流に位置する私立昭和学園高校も同様の被害を受けることとなった。

また、日田市街部西部に位置する市立光岡小学校でも、花月川からの洪水によりグラウンドが浸水するとともに、校舎床下まで濁流が押し寄せる被害が発生するなど、公立の小中学校を合わせて、5校で被害を受けた。

以下に、市立学校の被害件数・被害額と休校状況を示す。また、被害状況の写真を示す。

表－2.10.1 公立教育施設の被害件数・被害額

区分	被害件数	被害額	内国庫補助対象分	
			件数	金額
小学校施設	1校	460千円		
中学校施設	4校	27,559千円	2校	25,184千円
合計	5校	28,019千円	2校	25,184千円

- ・三和小学校 460千円
- ・北部中学校 23,478千円
- ・戸山中学校 1,029千円
- ・東有田中学校 2,425千円
- ・大明中学校 627千円

表－2.10.2 学校休校状況

学校名		7月3日(火)	7月4日(水)	7月5日(木)	7月6日(金)
1	咸宜小学校	休校			
2	桂林小学校		休校		
3	高瀬小学校	休校			
4	光岡小学校		休校		
5	朝日小学校		休校		
6	三和小学校	休校	休校		
7	有田小学校		休校		
8	小野小学校	休校	休校	休校	休校
9	大明小学校	休校	休校		
10	石井小学校	休校	休校		
11	三隈中学校		休校		
12	南部中学校	休校			
13	北部中学校		休校	休校	休校
14	戸山中学校	休校	休校	休校	
15	東有田中学校		休校		
16	大明中学校	休校	休校		
休校合計		9校	13校	3校	2校



・花月川から北部中学校校門への流入水



・冠水した北部中学校渡り廊下



・冠水した北部中学校駐車場



・洪水が治まった後の北部中学校玄関入口



・洪水が治まった後の北部中学校玄関入口

写真－2.10.1 教育施設の被害状況その1



・洪水が治まった後の北部中学校駐輪場1



・洪水が治まった後の北部中学校駐輪場2



・冠水した北部中学校1階廊下



・冠水した北部中学校職員室



・清掃中の北部中学校1階廊下



・清掃中の北部中学校1階教室

写真-2.10.2 教育施設の被害状況その2



・光岡小学校周辺



・床下浸水した光岡小学校校舎



・冠水した光岡小学校グラウンド



・冠水した光岡小学校の渡り廊下

写真－2.10.3 教育施設の被害状況その3

2.11 文化財の被害

(1) ^{しもこだけ}下小竹精米製粉用水車の被害

文化財については、平成4年3月10日に市の指定文化財となった小野地区^{すずれ}鈴連町の「下小竹精米製粉用水車」が7月3日の小野川の洪水で一部損壊した。さらに7月14日には追い討ちをかける形で再び小野川の洪水に見舞われ、全壊の状態となった。そのため、同年10月24日には、市文化財の指定を解除することとなった。

以下に被害前の写真を含め、被災状況の写真を示す。



・被災前の「下小竹精米製粉用水車」



・被災を受けた「下小竹精米製粉用水車」

写真-2.11.1 文化財・下小竹精米製粉用水車の被害状況

(2) 県指定有形文化財筏場目鏡橋の被害

いかだばめがねばし
県指定有形文化財筏場目鏡橋は、平成 24 年九州北部豪雨災害により、壁石が流失し、
現在では輪石を残すのみとなった。



写真-2.11.2 筏場目鏡橋の往時の姿



写真-2.11.3 被災直後の筏場目鏡橋(左:上流側から、右:下流側から)



写真-2.11.4 流木撤去後の筏場目鏡橋(左:上流から 右:下流から)

(3) 重要伝統的建造物群保存地区の被災（まめだまち豆田町）

被害の概要を、7月3日、7月14日及び7月16日毎に以下の位置図で示す。

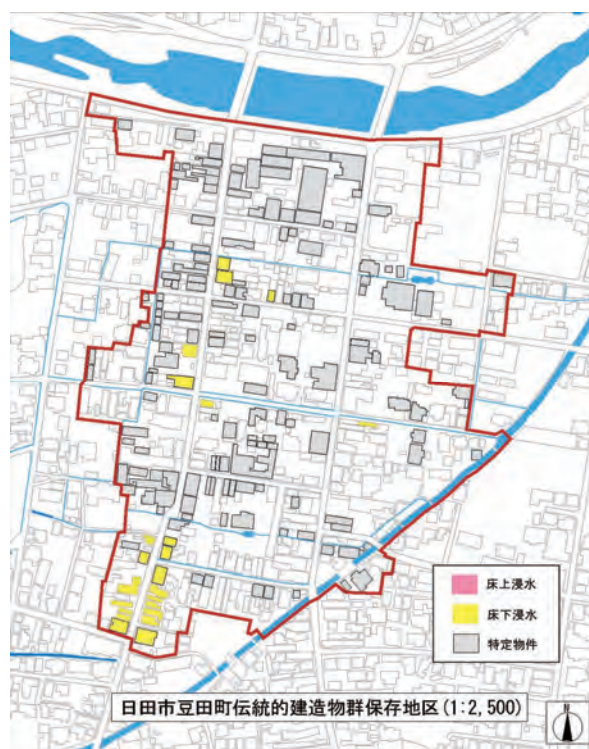
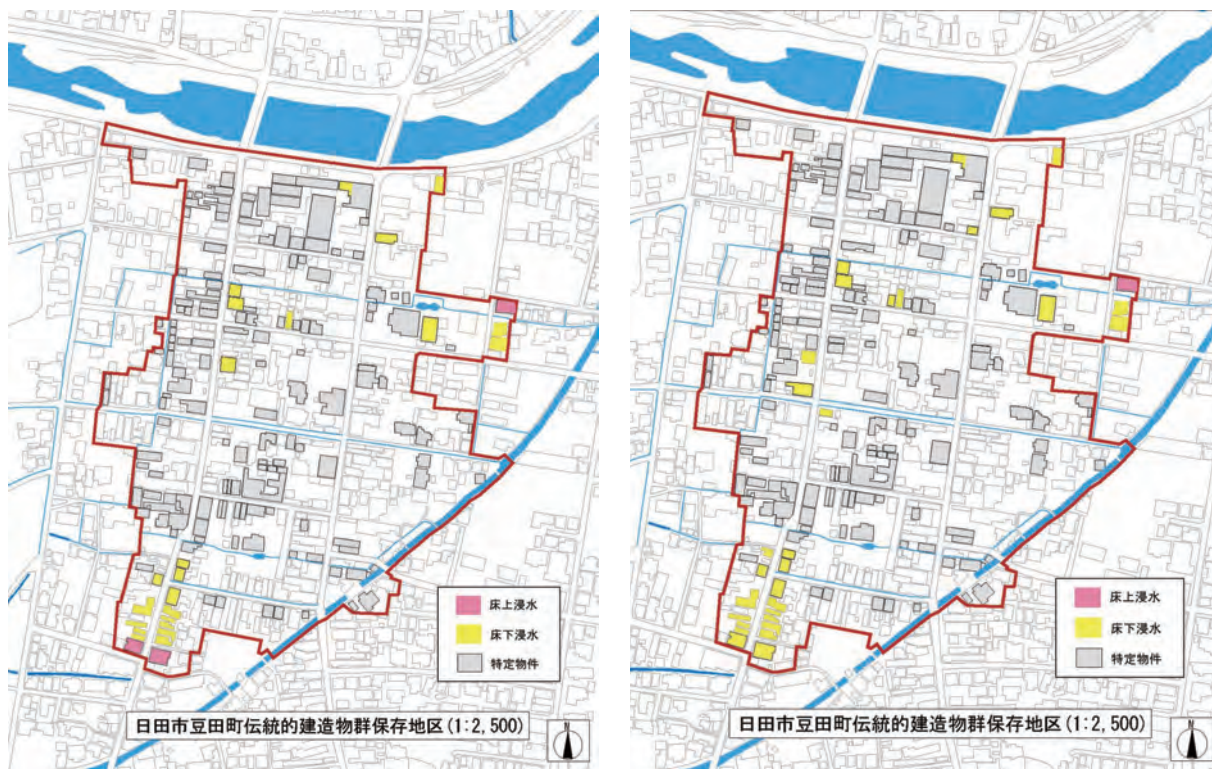


図-2.11.1 重要伝統的建造物群保存地区の被災状況

また、被災状況の写真を以下に示す。



写真－2.11.5 港町 大原家



写真－2.11.6 港町 櫻木家



写真－2.11.7 城町1丁目 石井家

2.12 農業関係被害

今回の豪雨では、多くの河川の氾濫は、農業施設や農地にまで甚大な被害をもたらした。

中でも7月14日の市内広範囲に及んだ降雨は、農道、水路、頭首工、ため池など、あらゆる農業施設に被害をもたらした。この被害により今後の農業存続も危ぶまれる地域も発生している。

以下に農業関係の被害件数・被害額及び被害状況の写真を示す。

表－2.12.1 農業用施設の国庫補助被害件数・被害額
(単位：件・千円)

区 分	被害件数	被害額
農業用施設	425	1,170,053
農 地	401	473,738
合 計	826	1,643,791

※上記被害額は、国庫補助の災害査定額

・農業用施設内訳

区分	被害件数	被害額
道 路	75	131,199
橋 梁	7	146,109
水 路	263	521,801
頭首工	77	359,473
ため池	3	11,471
合 計	425	1,170,053

・農地内訳

区分	被害件数	被害額
田	294	351,501
畑	107	122,237
合 計	401	473,738

表－2.12.2 農業関係日田市単独災害被害件数・被害額

天瀬振興局分 (単位：件・千円)			前津江振興局分 (単位：件・千円)			上津江振興局分 (単位：件・千円)		
区分	件数	金額	区分	件数	金額	区分	件数	金額
施設	35	13,689	施設	22	9,864	施設	2	1,043
農地	41	14,910	農地	14	7,210	農地	3	1,030
計	76	28,599	計	36	17,074	計	5	2,073

大山振興局分 (単位：件・千円)			中津江振興局分 (単位：件・千円)			振興局 合計 (単位：件・千円)		
区分	件数	金額	区分	件数	金額	区分	件数	金額
施設	4	1,303	施設	20	7,484	施設	83	33,383
農地	3	1,181	農地	19	10,078	農地	80	34,409
計	7	2,484	計	39	17,562	計	163	67,792

農業振興課分 (単位：件・千円)			【日田市全体】 (単位：件・千円)		
区分	件数	金額	区分	件数	金額
施設	249	84,162	施設	332	117,545
農地	278	108,140	農地	358	142,549
計	527	192,302	総計	690	260,094



・高瀬(間門橋)



・鶴河内 喜三庵



・市ノ瀬町



・市ノ瀬町

写真－2.12.1 農業関係施設の被害状況その1



・小野地区



・小野地区



・秋原町



・東有田



・鶴河内町(柳瀬)



・岩美町



・上諸留町



・上諸留町(日向野)

写真-2.12.2 農業関係施設の被害状況その2



・大日町



・大日町



・岩美町



・市ノ瀬町



・鈴連町(松山入口)



・鈴連町(小野小学校上流)



・上宮町



・市ノ瀬町

写真－2.12.3 農業関係施設の被害状況その3

2.13 林業関係被害

記録的な大雨は、市有面積の約83%を占める山林にも大きな被害をもたらした。山地の崩壊や林業施設等に大きな被害が発生し、市の主力産業である林業、製材業、木工業などに影響を及ぼした。

以下に林業関係の被害件数・被害額及び被害状況写真を示す。

表－2.13.1 林業施設の国庫補助被害件数・被害額

区 分	被害件数	被害額
林業用施設	28	234,893
合 計	28	234,893

※上記被害額は、国庫補助の災害査定額

・農業用施設内訳

区分	被害件数	被害額
林 道	28	234,893
合 計	28	234,893

表－2.13.2 林業関係日田市単小災害復旧事業 林道被害件数・被害額
(市単小災害工事のみ)

※単小災害とは、一定規模未満の、補助事業の対象とならない災害

天瀬振興局分

(単位：件・千円)

区 分	件 数	金 額
計	7	8,820

前津江振興局分

(単位：件・千円)

区 分	件 数	金 額
計	67	33,970

上津江振興局分

(単位：件・千円)

区 分	件 数	金 額
計	2	393

上津江振興局のみ維持工事費にて対応

大山振興局分

(単位：件・千円)

区 分	件 数	金 額
計	20	6,200

中津江振興局分

(単位：件・千円)

区 分	件 数	金 額
計	10	6,047

振興局 合計

(単位：件・千円)

区 分	件 数	金 額
計	106	55,037

本庁分

(単位：件・千円)

区 分	件 数	金 額
計	209	97,743

【日田市合計】

(単位：件・千円)

区 分	件 数	金 額
総 計	315	152,780

表－2.13.3 林業関係日田市単小災害復旧事業 作業道・林地等被害件数・被害額
(市単小災害補助事業のみ)

天瀬振興局分 (単位：件・千円)			前津江振興局分 (単位：件・千円)			上津江振興局分 (単位：件・千円)		
区 分	件 数	金 額	区 分	件 数	金 額	区 分	件 数	金 額
作業道	5	2,775	作業道	9	7,417	作業道	0	0
林 地	0	0	林 地	0	0	林 地	0	0
計	5	2,775	計	9	7,417	計	0	0

大山振興局分 (単位：件・千円)			中津江振興局分 (単位：件・千円)			振興局 合計 (単位：件・千円)		
区 分	件 数	金 額	区 分	件 数	金 額	区 分	件 数	金 額
作業道	2	2,698	作業道	0	0	作業道	16	12,890
林 地	0	0	林 地	0	0	林 地	0	0
計	2	2,698	計	0	0	計	16	12,890

本庁分 (単位：件・千円)			【日田市合計】 (単位：件・千円)		
区 分	件 数	金 額	区 分	件 数	金 額
作業道	9	6,080	作業道	25	18,970
林 地	8	3,720	林 地	8	3,720
計	17	9,800	総 計	33	22,690

※被害額は、補助金ベース。(作業道等 85%、林地 70%)



・小野地区（林道岳滅鬼線 起点3.5km付近）



・同左

写真－2.13.1 林道施設の被害状況その1



・小野地区（林道岳滅鬼線 起点6.0km付近）



・同左



・小野地区（林道岳滅鬼線 起点8.0km付近）



・同左



・三花地区（林道花月線 起点10km付近）



・同左

写真－2.13.2 林道施設の被害状況その2



・三花地区（林道花月線 起点1.5km付近）



・同左



・三花地区（林道花月分線 起点0.3km付近）



・同左



・前津江町（林道千蔵木線 起点0.4km付近）



・同左（起点0.5km付近）

写真-2.13.3 林道施設の被害状況その3



・前津江町（林道浦平線 起点0.6km付近）



・前津江町（林道清水の元線 起点0.8km付近）



・大山町（林道竹ノ迫線 起点0.7km付近）



・前津江町



写真－2.13.4 林道施設の被害状況その4